



音楽の魅力と連携への期待

—療法手段としての音・音楽の視点から—

H. Yamane

*Hiroshi Yamane ; OTR, PhD
Human Health Science
Graduate School of Medicine, Kyoto University*

ひとの暮らしと音楽



ひとにとって音楽とは何だろう
なぜすべての宗教に音楽があるのだろう

原初の音楽

人類創生の時より
ひとの命のいとなみは
自然との戦い
自然との共生

ひとは
人知の及ばぬ自然の摂理に
歌い舞い
神仏と交わり
恵みを祈り
恵みに感謝してきた

ひとは
ときに静かに ときに激しく
からだをゆすり
声(音)に乗せ
音とりズムに身をゆだね
荒ぶる気持ちを鎮め静め
ふさぐ気持ちを慰め
生きる労苦と悲しみを超えてきた
音とりズム
それは原初の音楽の力





それぞれの地域に歌と音楽がある
そう
わたしが住む町にも
いろいろな歌と音楽があります
たとえば

竹田の子守り唄
京都の通り名数え歌
お囃子(祇園囃子など)
日本初の行進曲(戊辰戦争)

.....



守りもいやがる 盆からさきによ
雪もちらつくし 子も泣くし

盆が来たとして 何うれしかろ
かたびらはなし 帯はなし

この子よう泣く 守りをばいじる
守りも一日 やせるやら

はよも行きたや この在所こえて
向うに見えるは 親の家

京都府民謡 竹田の子守り唄

- ・京都、大阪の被差別部落に伝わる子守歌
- ・住井すゑ『橋のない川』の舞台化で竹田地区の民謡を編曲
- ・1969年フォークグループの「赤い鳥」が演奏
- ・被差別部落絡みの楽曲という理由で放送禁止歌
- ・1990年代に封印緩和、紙ふうせんなどが歌う



元唄

こんな泣くう子よ 守りしえと言うたか
泣かぬ子でさい(きこえ) 守りやいやにや
どうしたいいーりや きーこえたーか

この子よう泣く 守りをばいじる

守りも一日 やせるやら

どうしたいいーりや きーこえたーか

来いや来いやと 小間物売りに

来たら見もする 買いもする

どうしたいいーりや きーこえたーか

寺の坊んさん 根性が悪い

守り子いなして 門しめる

どうしたいいーりや きーこえたーか

久世の大根飯 吉祥 (きつちよ)の菜飯
またも竹田のもん葉飯

どうしたいいーりや きーこえたーか

盆がきたあかて 正月がきいたて

なんぎな親もちやうれしない

どうしたいいーりや きーこえたーか

まんぞくな食事ができなくて、大根めしや菜めしか食べられない地域がある。しかし「もんば飯 (おからごはん)」を食べるところよりまし
差別される側が差別する側になるという差別の連鎖とその悲しさを歌ったもの



まるたけえびすにおしおいけ

丸竹夷二押御池

あねさんろつかくたこにしき

姉三六角蛸錦

しあやぶつたかまつまんごじょう

四綾仏高松万五条

せつたちやらちやらうおのたな

雪駄ちやらちやら魚の棚

ろくじょうさんてつとおりすぎ

六条三哲とおりすぎ

しちじょうこえればはつくじょう

七条こえれば八九条

じゅうじょうとうじでとどめさす

十条東寺でとどめさす

てらまちごごうふやとみやまぎ

寺御幸麩屋富柳

さかいたかあひがしにくるま

堺高間東車

からすまりようがえむろころも

烏両替室衣

しんまちかまんぎにしおがわ

新釜西小川

あぶらさめがいほりかわのみず

油醒ヶ井堀川の水

よしやいのくまくろおおみや

葎屋猪黒大宮

まつびぐらしにちえこういん

松日暮に智恵光院

じょうふくせんぼんはてはにしじん

浄福千本はては西陣

通りの名前を覚えるために歌われたもの
意味記憶よりも覚えやすいのはなぜ？

まる 丸太町通り

たけ 竹屋町通り

えびす 夷川通り

に 二条通り

おし 押小路通り

おいけ 御池通り

あね 姉小路通り

さん 三条通り

ろつかく 六角通り

たこ 蛸薬師通り

にしき 錦小路通り

し 四条通り

あや 綾小路通り

ぶつ 仏光寺通り

たか 高辻通り

まつ 松原通り

まん 万寿寺通り

ごじょう 五条通り

せつた 雪駄屋町通り

ちやらちやら 鍵屋町通り

うおのたな 魚の棚通り

ろくじょう 六条通り

さんてつ 三哲通り

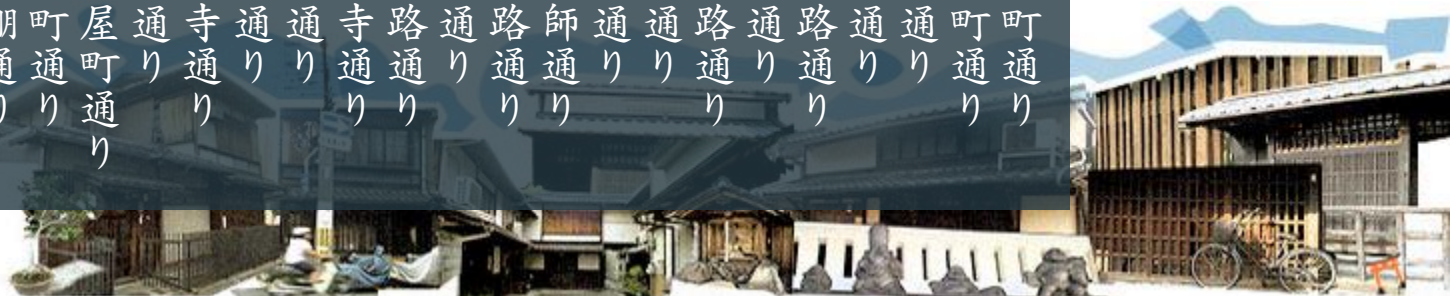
しちじょう 七条通り

はち 八条通り

くじょう 九条通り

じゅうじょう 十条通り

京都の通り名歌



生活と音楽

ビリーホリデイ
「奇妙な果実」1939

比叡山延暦寺

奴隷としての悲しみの歌
「Soon-ah Will Be Done」1938

ブルース 加持祈祷 ご詠歌

声明 念仏 聖歌 黒人霊歌

演歌
戊辰戦争時の行進曲
「宮さん宮さん」1968
etc.)

南部牛追い歌

民謡(追分 馬子唄 子守唄

国歌 校歌 応援歌 行進曲

お囃子 数之歌 懐メロ



Southern trees bear strange fruit
Blood on the leaves and blood at the root
Black bodies swinging in the southern breeze
Strange fruit hanging from the poplar trees.
Pastoral scene of the gallant south
The bulging eyes and the twisted mouth
Scent of magnolias sweet and fresh
Then the sudden smell of burning flesh.
Here is a fruit for the crows to pluck
For the rain to gather for the wind to suck
For the sun to rot for the trees to drop
Here is a strange and bitter crop.



第一次大戦までの
30年間に2,732件
奇妙な果実があった
ひとはこの怒りと痛み
を歌うことにより越えよ
うとしたのだろうか。

南部の木には奇妙な果実がなる
葉には血が、根にも血を滴たらせ
南部の風に揺らいでいる黒い死体
ポプラの木に吊るされている奇妙な果実
美しい南部の田園に
飛び出した眼、苦痛に歪む口
マグリアの甘く新鮮な香りが
突然肉の焼け焦げている臭いに変わる
カラスに突つかれ
雨に打たれ 風に弄ばれ
太陽に朽ちて 落ちていく果実
奇妙で悲惨な果実

作業をもちいる療法の基本事項



聴覚経路から音・音楽の機能と
役割を知る

作業をもちいる療法と作業的存在としての人間

人間は生きるために様々な作業をする作業的存在
病気や心身の機能障害は、生活に必要な作業の障害として現れる

作業療法は
生活を構成するあらゆる作業を手段とし

生活機能(心身機能・構造, 活動と参加)をアセスメントし

心身機能の障害と作業の障害を軽減し

リハビリ支援と生活の再建を支援する

ひとと作業 (real occupation)

ひとは生きるために作業し、
作業することで、楽しみ、困難や不安を乗り越える

とにかく生きる

日常の自立に必要な作業 (日常生活行為)

じぶんで生きる

生きるための作業 (採り、育て、料り、食べ、働く)
生き延びるための作業 (神頼みのトランス、協働)

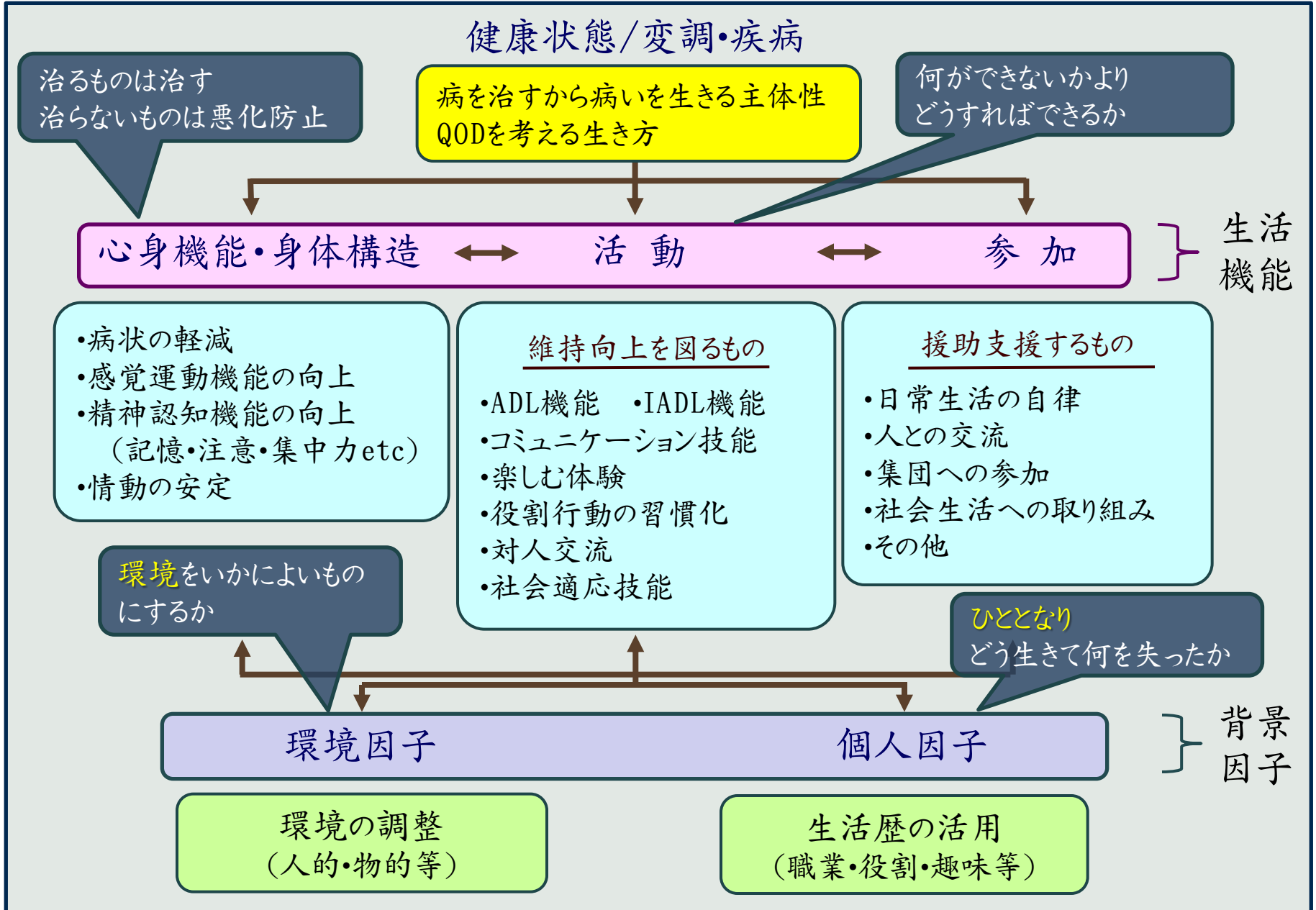
うまく生きる

自分の考えや気持ち表し伝える作業

よりよく生きる

豊かに生きるための作業 (遊ぶ・楽しむ)

健康の概念と作業をもちいる原則



回復状態に応じたシステムプログラム

	急性期		回復期		維持期	緩和期
	要安静期	亜急性期	前期	後期		
	1~2週間	~1ヶ月	~3ヶ月	~1年		
精神科OT		早期OT		回復期OT	維持期OT	緩和期OT
入院治療	精神科救急・急性期病棟		回復期病棟			緩和病棟
			療養病棟			
外来治療			デイケア(1~2年)			
			外来OT(必要期間)			
生活支援	社会復帰施設(必要期間)					

作業療法は急性期から緩和期(看取りの期)まで、対象者の回復状態(障害レベル)とニーズに応じて、もちいる作業種目、もちい方(目的か手段か)、形態(個別か集団か)介入方法(治療、訓練、学習、援助、補助etc.)を組み替えるシステムプログラム

回復状態に応じた作業療法の目的

だれに何を目的に

どのような作業を、いつ、どのように、もちいるか
ひとの集まり(集団力動)を利用するか、するならどのように

急性期

作業による病状の軽減で薬物の使用を最小限にし、
自己回復力を高める

回復期

具体的な活動を通して、生活技能の学習
生活の再建 自律と適応の援助

維持期

生活することがリハビリテーションになるよう支援
生活の質と社会参加の促進

緩和期

一人だが一人ではない
意味のある自己の確認に寄り添う

ストレングスという視座



patient → person who lives with disease
cure → care → cope → cooperate

Weakness model

Strength model

失ったものを追求めずに
今あるものを活かす
あれもだめ これもできない から
こうしてもいい 何とかなる
やってみよう

disease
impairment
disability
handicap



治療 訓練
代理 収容



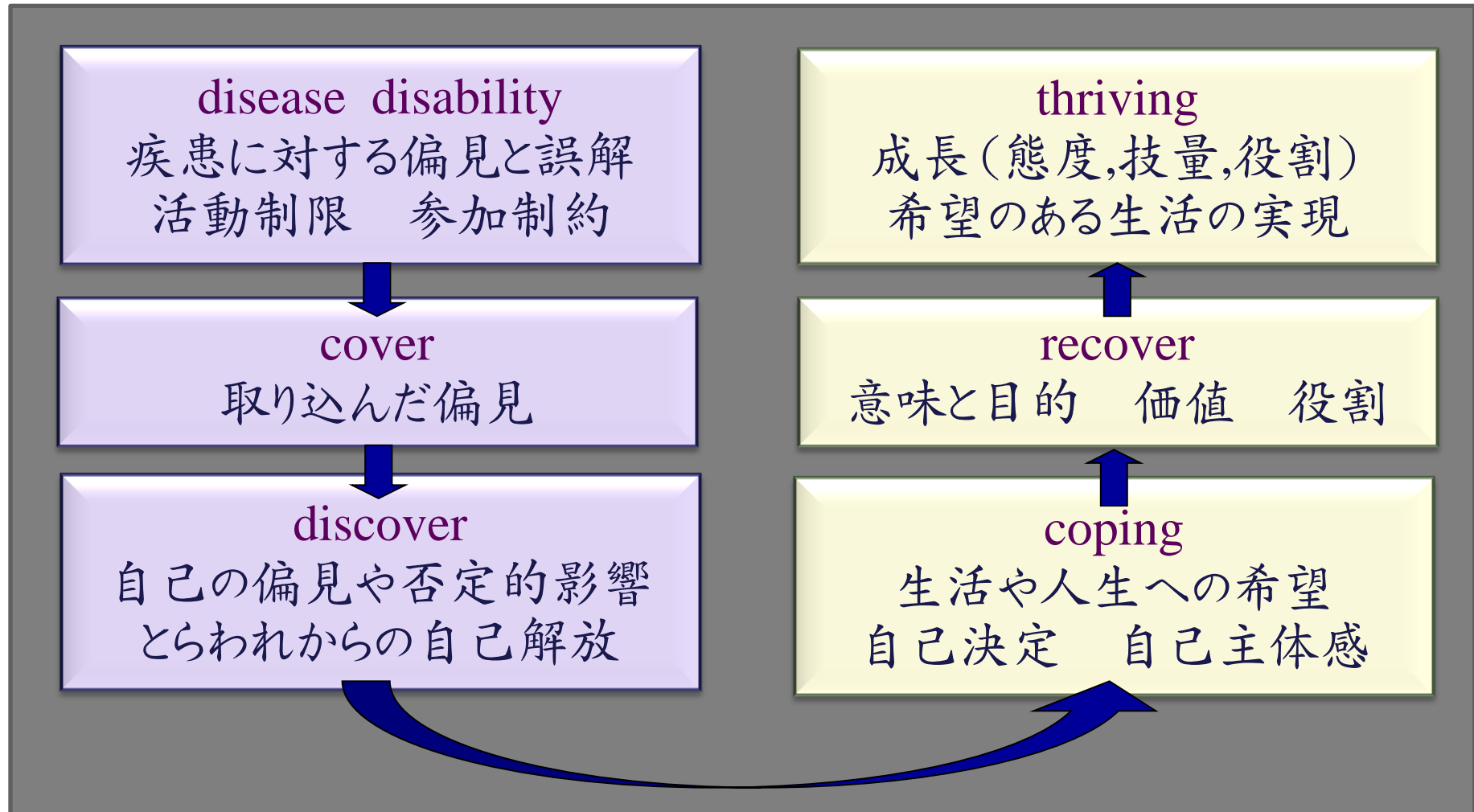
ability
capability
Welfare



工夫 自助
公助 支援

リハビリ支援

当事者の体験から生まれた
病いを生きるともいえる概念

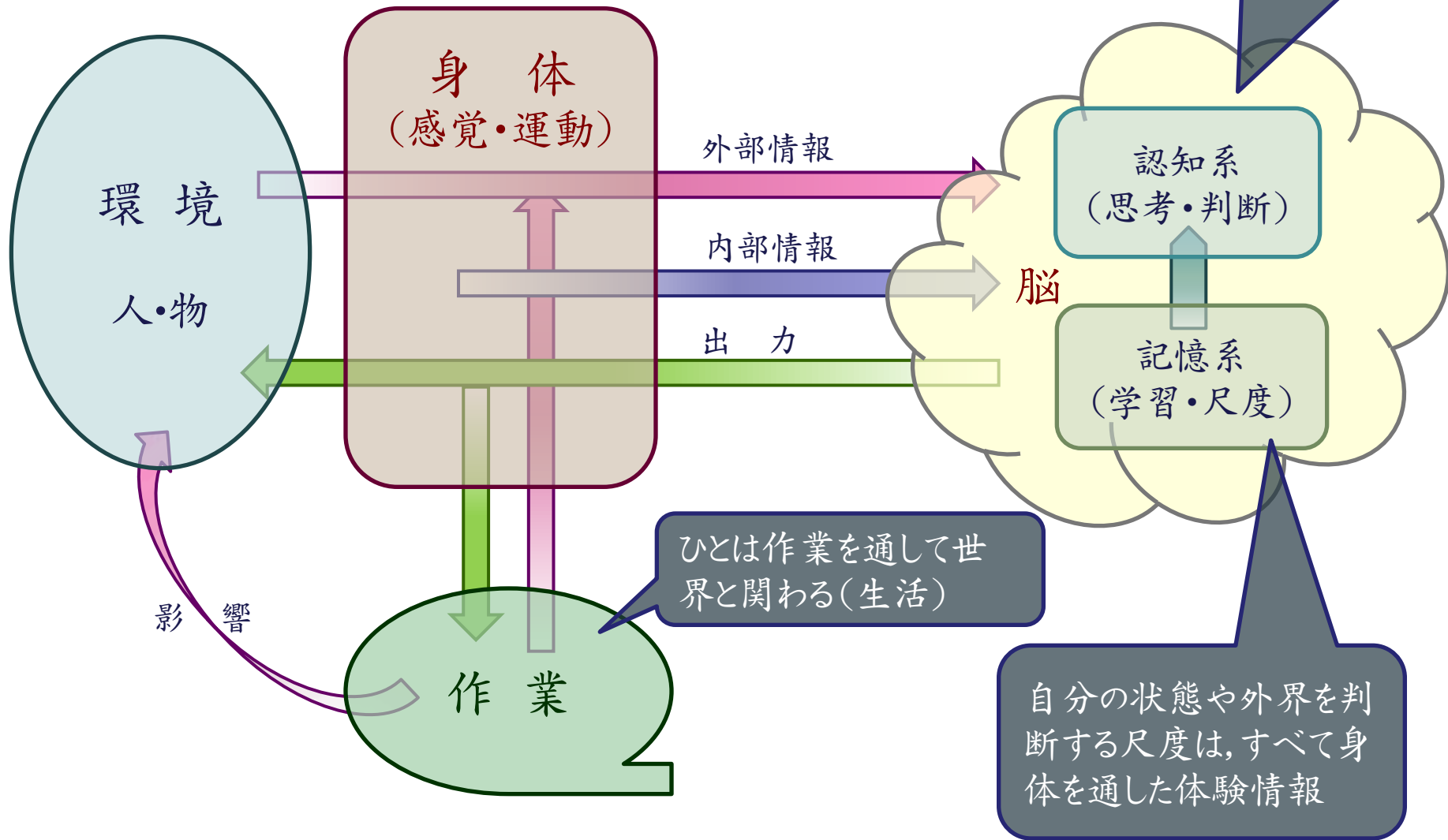


脳機能と音・音楽

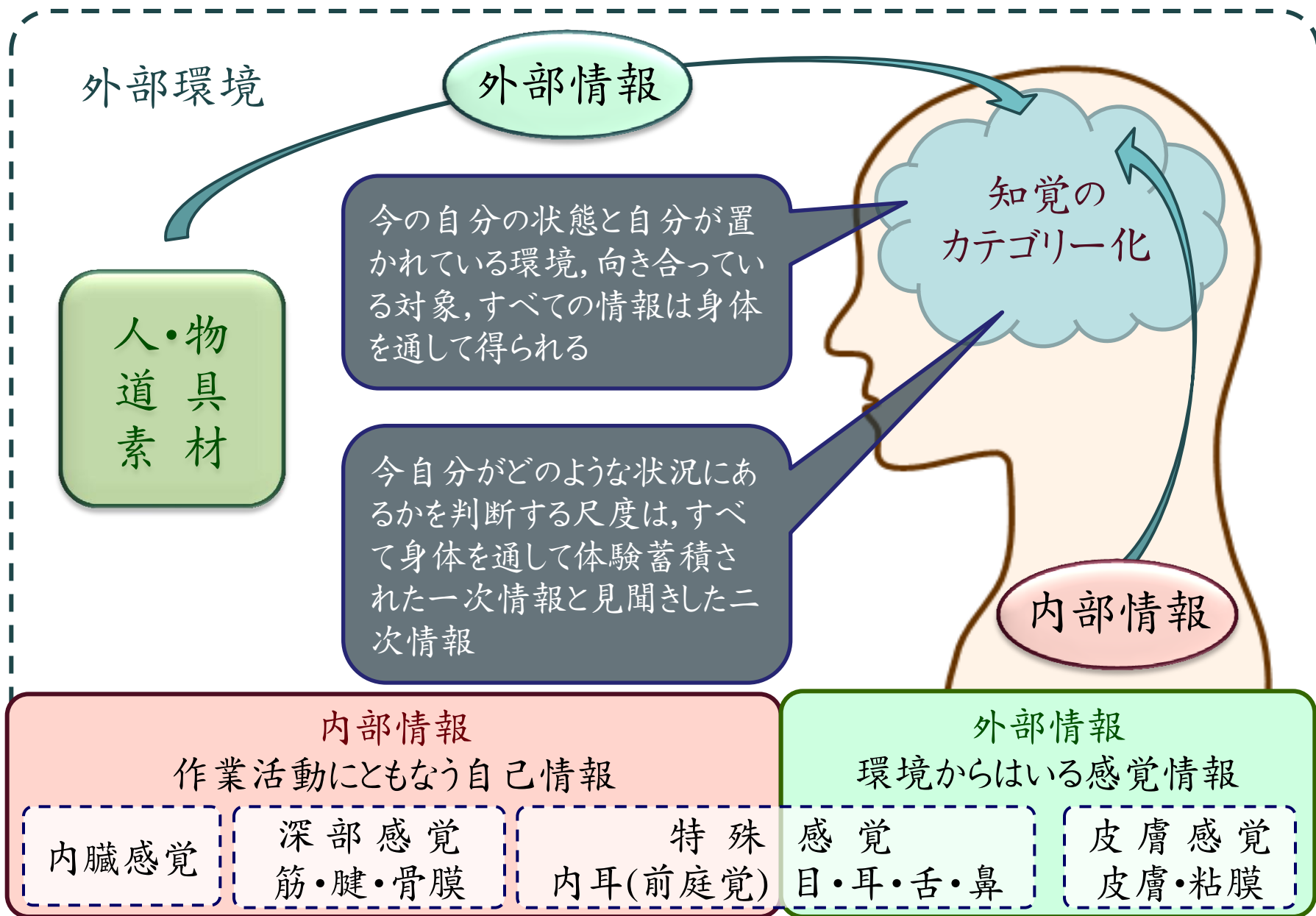


音や音楽といった聴覚刺激は、どのように知覚認知されるのか。伝達処理経路から音や音楽の機能と役割を考える。

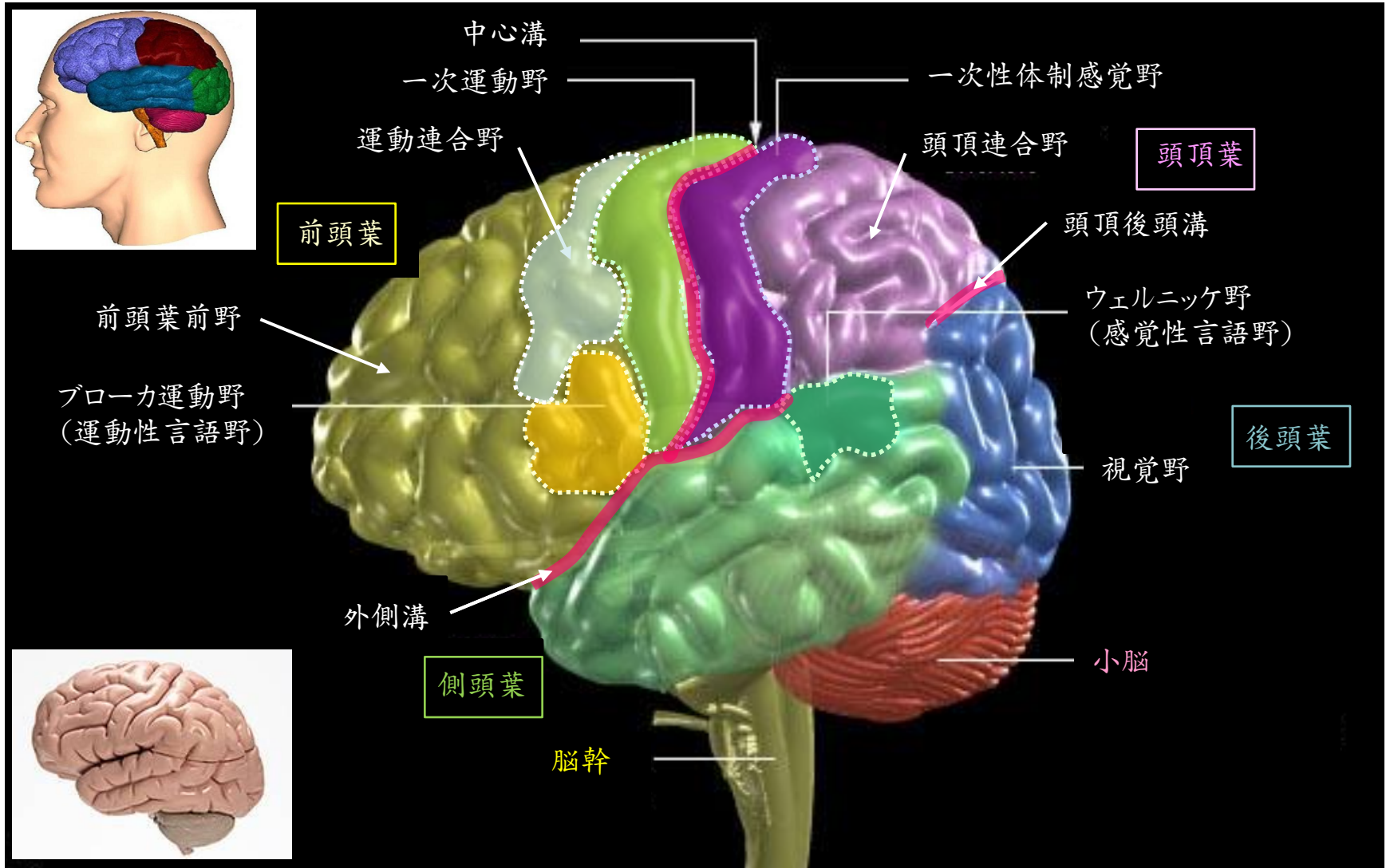
ひとはただ一つの身体として存在する 脳 - 身体 - 作業



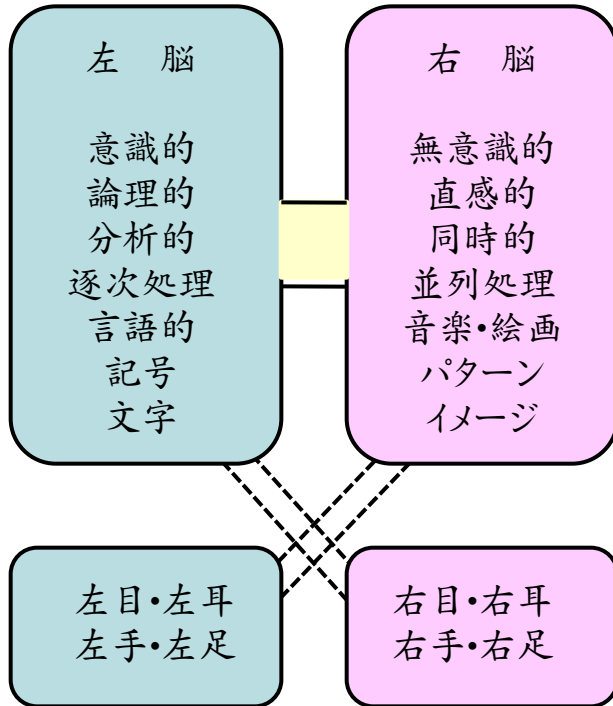
判る・行う → すべては身体を介して



脳の構造と機能



脳機能の局在



脳の機能分化

脳の機能は大まかには左右に局在。個人差があり、fMRIなどの測定から相対的な活動の増大とみられる。

左半球:言語や論理的思考と身体右側の認識

右半球:イメージや芸術的創造性と身体左側の認識

左右の半球は脳梁によって結合され協調。言語野は90%以上の人は左半球にあるが、右利きで数%、左利きで30~50%程度が右半球にある。

視覚は網膜の右視野(右目の外側、左眼の内側)は左半球に、左視野は右半球に投射(半交叉)。

高次機能の局在が生じる原因等については判明されていない。先天的半球欠如、幼少時に事故などで脳に部分的損傷を負った場合、その部位の機能を反対側の半球が処理するようになることがある。

運動野・感覚野

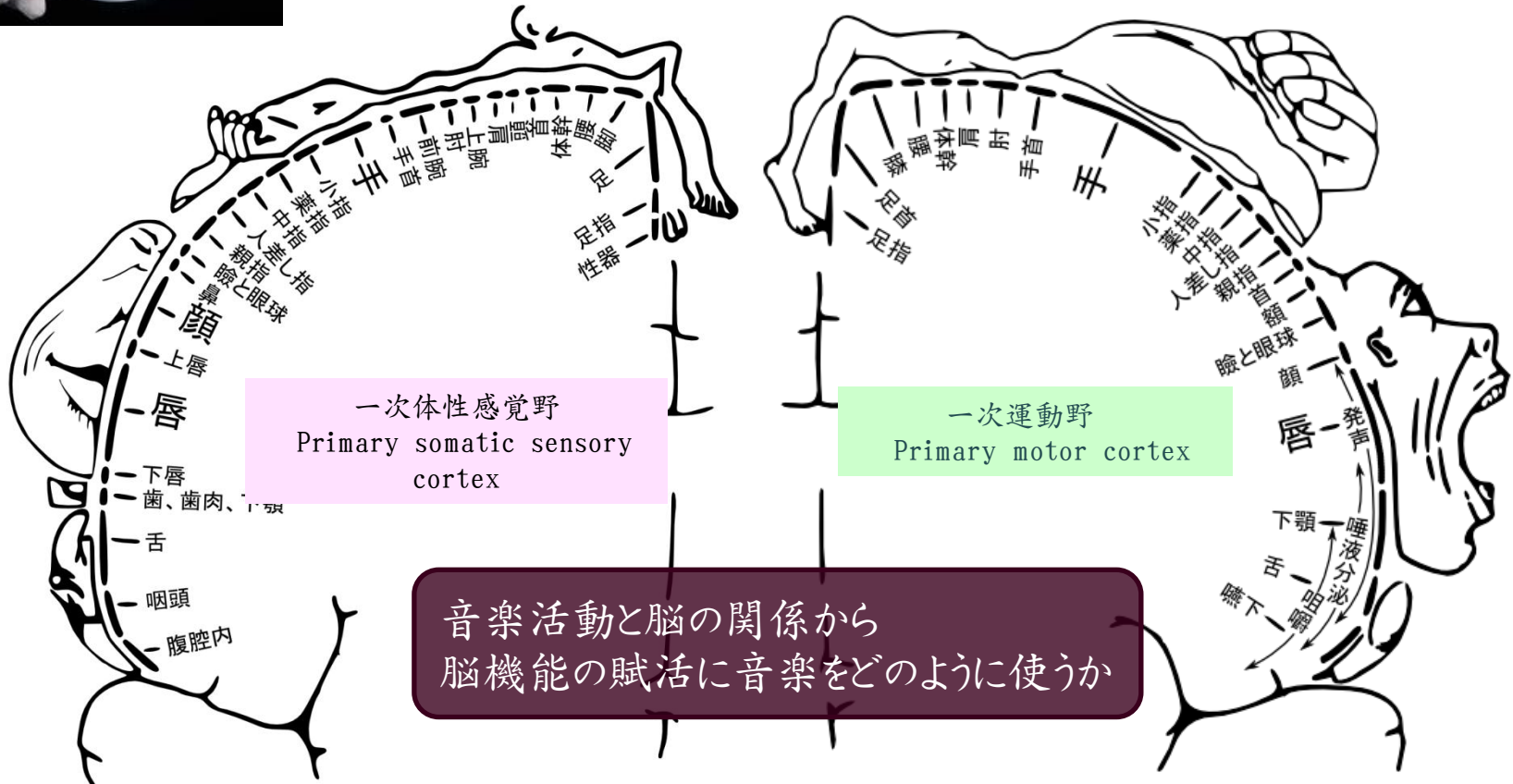


ヒの脳に住んでる
ホムンクルス
だよ。よろしく

ヒの一次運動野の側部は、図のように上から、尻、胴、肩、肘、手首、指、親指、目蓋、唇、顎、脚部は大腦縦列内に折り込まれて配置されている。Penfield WGにより解明されたもので、運動野のホムンクルス(ラテン語の小人)と呼ばれ、運動野の細胞が占める領域で人の形を作ると図のようになる。一次体性感覚野は中心溝を挟んで一次運動野と向き合う位置にある。



Penfield WG



ブローカ野 Broca's area

縁上回 supramarginal gyrus

角回 angular gyrus

ウェルニッケ野 Wernicke's area

聴覚野 Auditory cortex

耳小骨 Ossicles

耳介 pinna

蝸牛 cochlea

聴覚伝導路

大脳皮質

下丘

蝸牛神経

脳幹

内耳

中耳

内耳神経

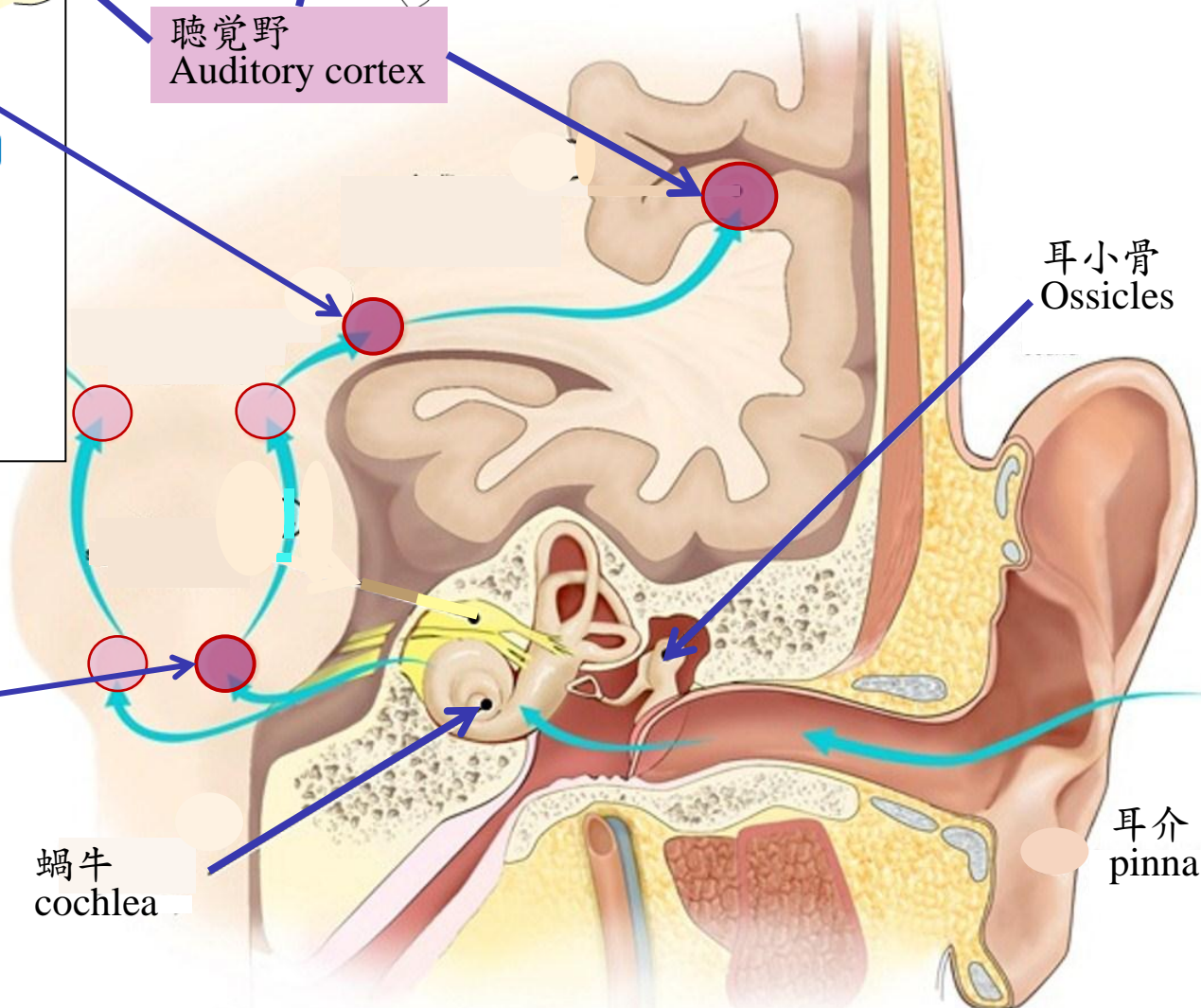
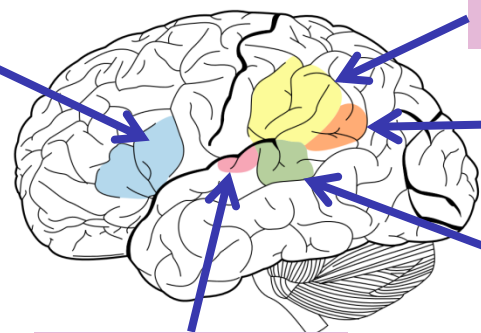
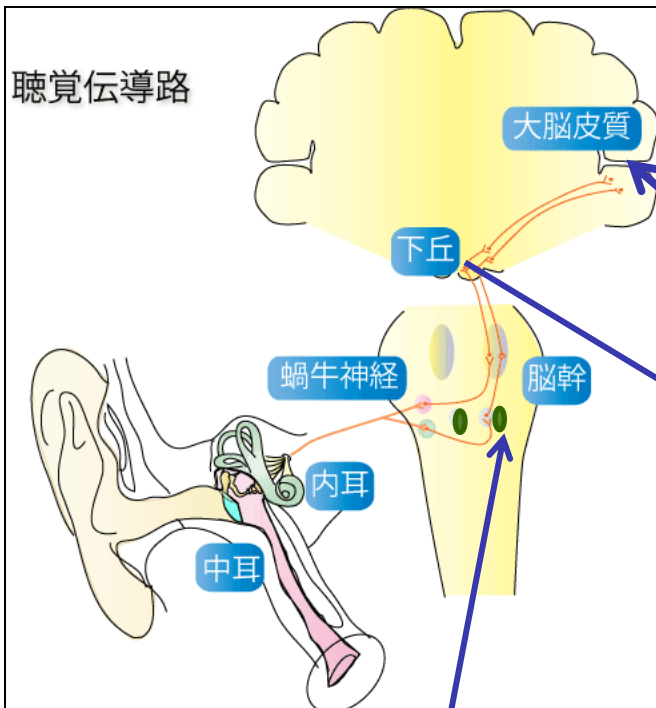
蝸牛神経核

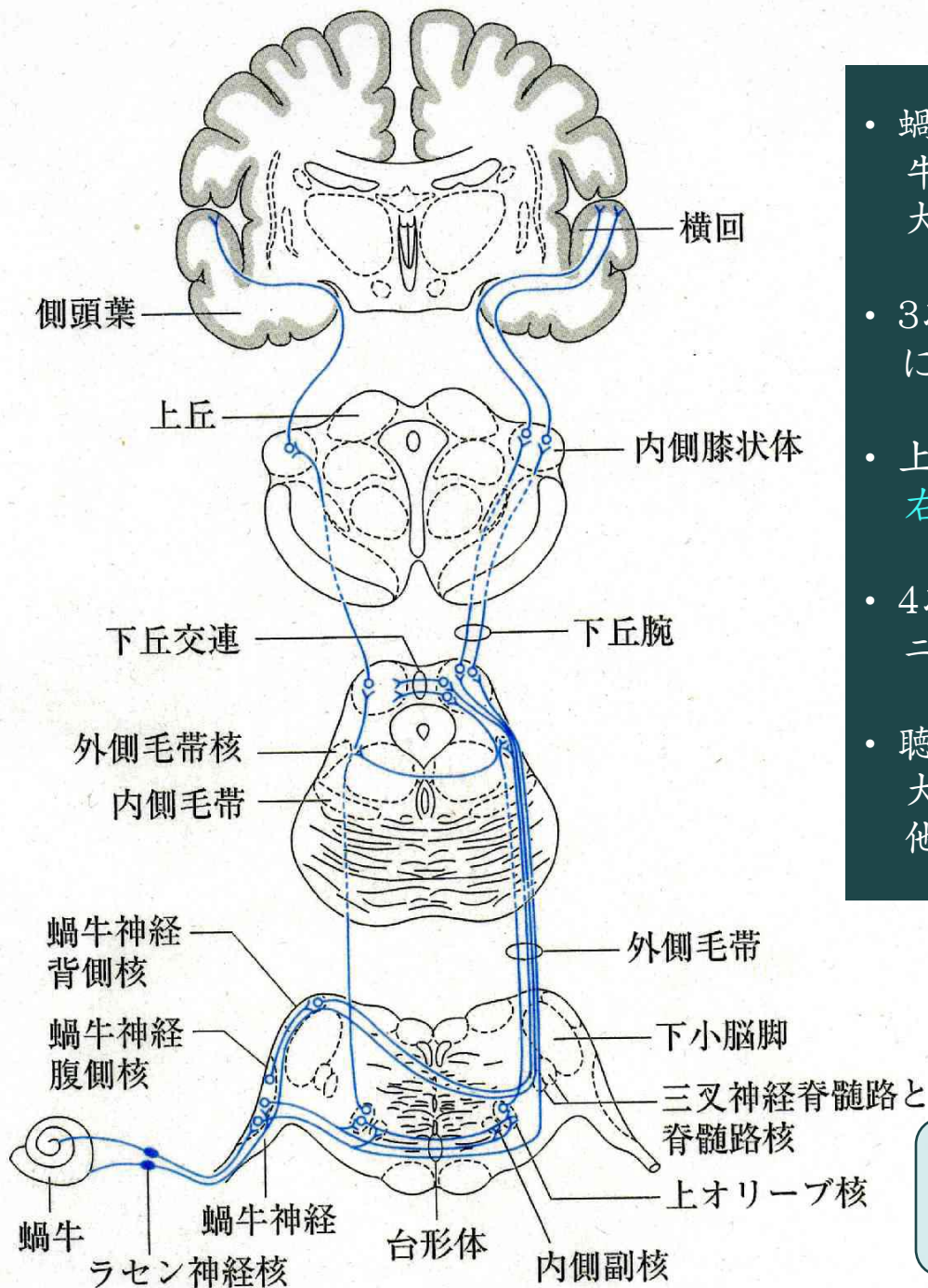
上オリーブ核

外側毛帯, 下丘

内側膝状体

聴覚皮質





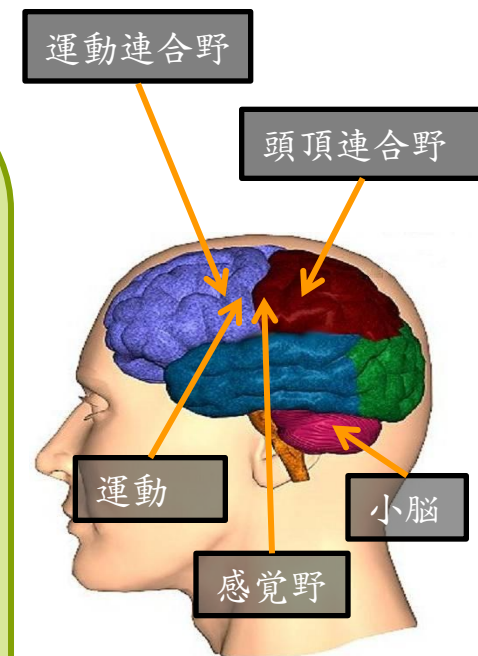
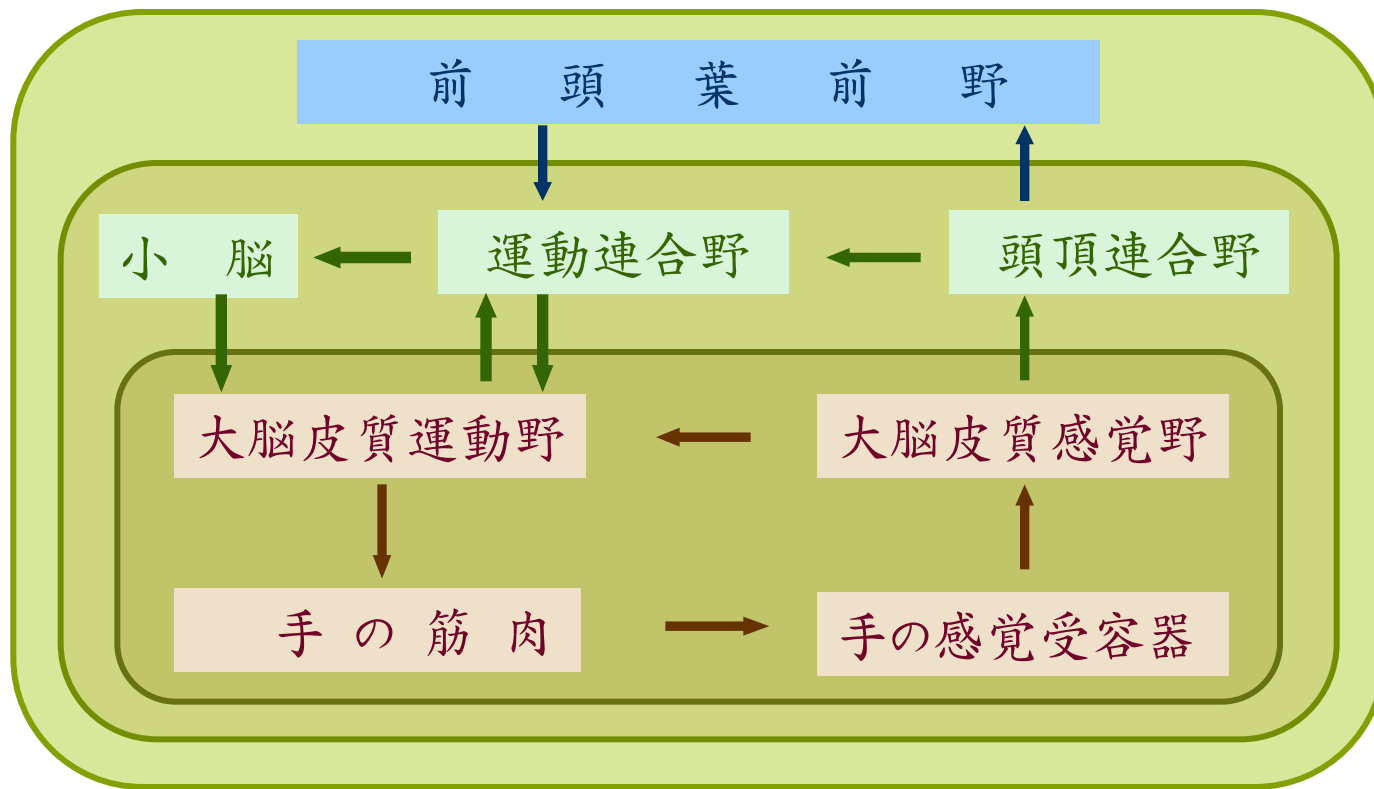
- 蝸牛からの神経インパルスは背側と腹側の蝸牛神経核に伝えられる.ここでシナプスを変え,大部分は**対側**の上オリーブ核へ伝達.
- 3次ニューロンはここから外側毛帯を通り下丘に到達
- 上オリーブ核,外側毛帯核,下丘野核は,**左右連絡**
- 4次ニューロンは**内側膝状体**に入り,5次ニューロンで皮質の聴覚野に情報を伝達
- 聴覚の一部の繊維は**脳幹網様体**に連絡し,大きな音などに反応して脳を賦活化
他の繊維は**小脳**へ連絡

体性感覚や視覚からも入力を受け,扁桃体に投射.音と情動・記憶に関連?

知覚と運動機能の統合、平衡・筋緊張・随意筋運動を調節

生命維持に関連

手と脳



単に指で鍵盤を押す

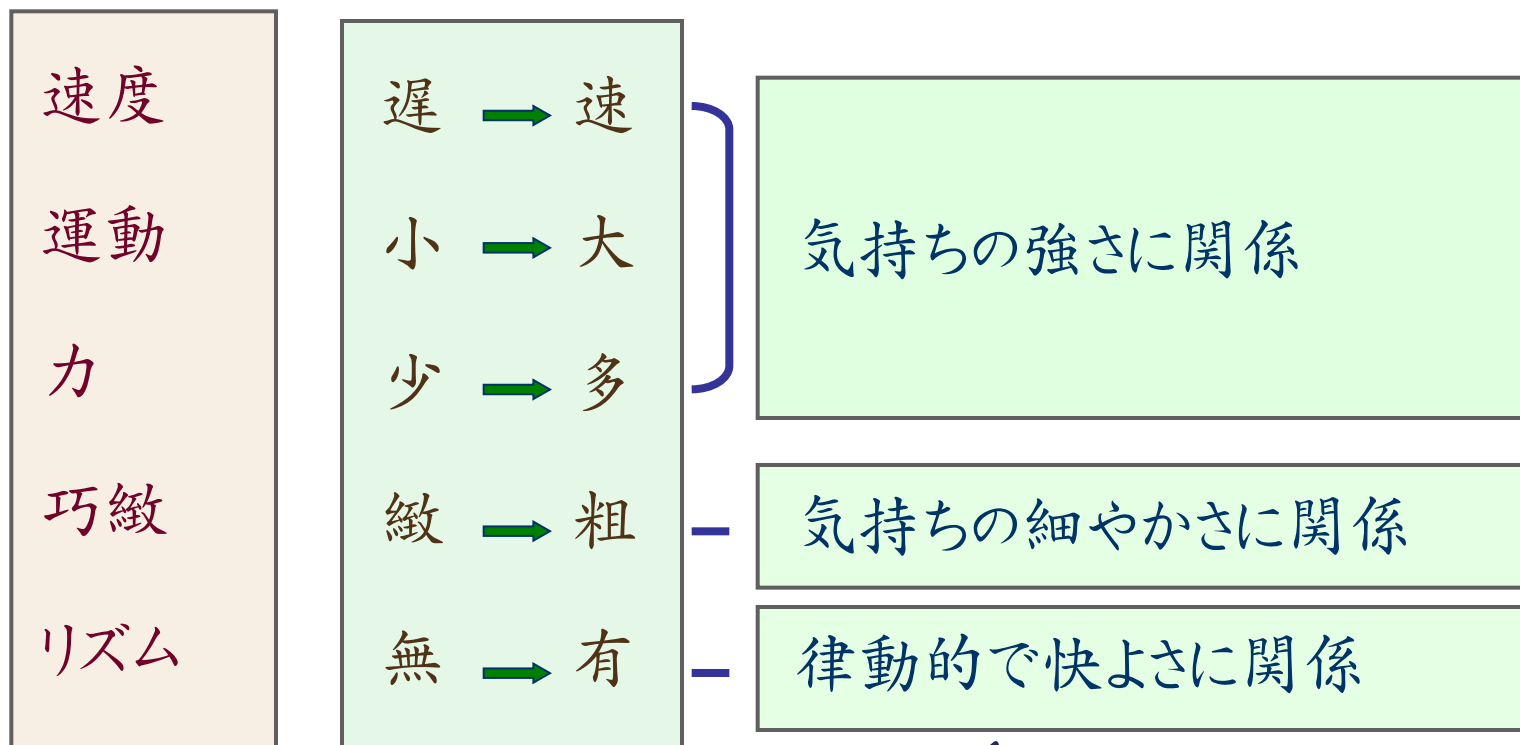


覚えているメロディーを繰り返す



自分の解釈を加えて弾く

手の機能との同一化



身体の使い方
で情動の
整えを図る

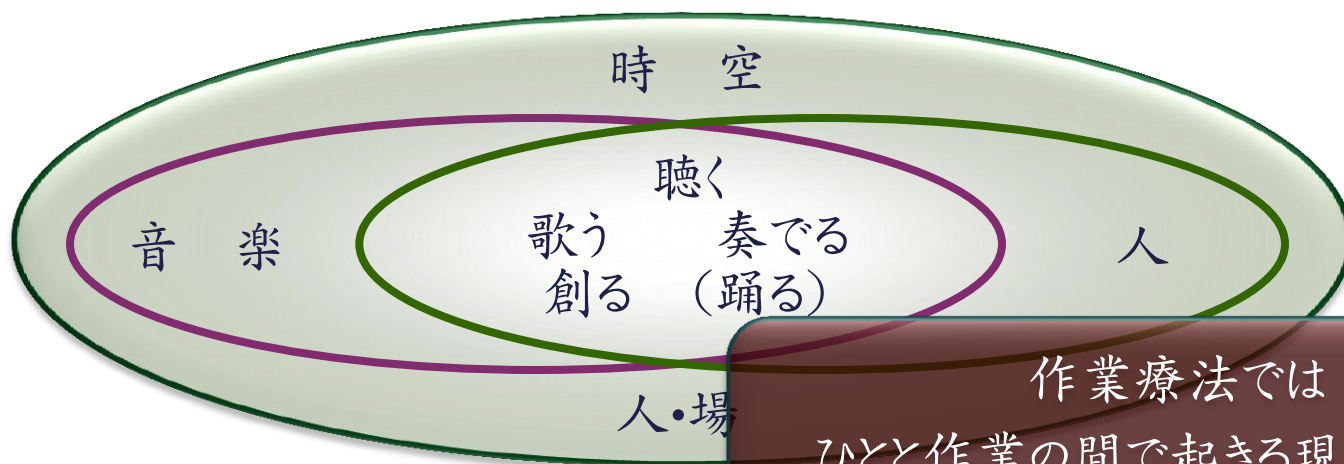
作業療法における音や音楽の利用と連携



作業療法では音や音楽を作業の一つとして
利用している

音や音楽をどのようにもちいているのか
そして求めている連携とは

作業療法でもちいる音楽の要素



作業療法では
ひとと作業の間で起きる現象を利用

音楽の場合は

聴く 歌う 奏でる 創る (踊る)
投影……

要素

- 聴く 受動:認知 感受
- 歌う 身体エネルギー :音声表現..
- 奏でる 身体エネルギー :楽器操作..
- 創る 自己表現:自己愛充足..
- (踊る) 誘発刺激:心身機能の賦活

表現様式の特徴

無意識的行動

意識的行動



身体による表現

ジェスチャーなど手による表現

絵など視覚的表現

音・リズム・音楽による表現

言語表現

ノンバーバル



知性化

客観化



バーバル

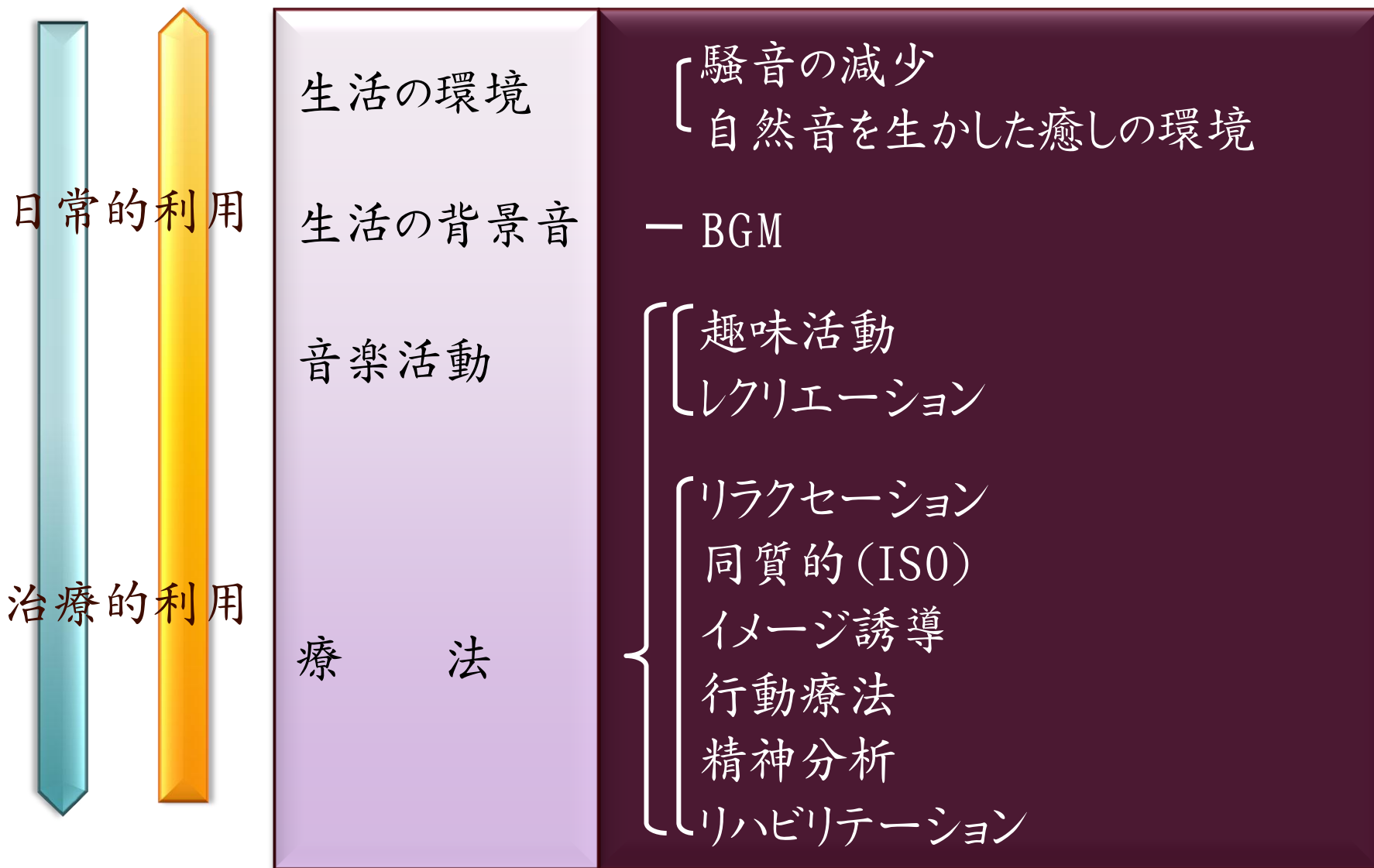
舞 踏

造形・描画

文 学

音 楽

音と音楽の利用



感覚運動機能面に対する利用

音声と発話に関する基本的機能

音声 構音 流暢性 リズム

自律神経系機能

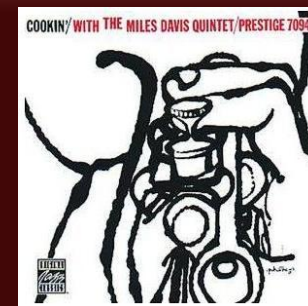
交感神経 副交感神経

循環器・呼吸器系の機能

血圧の安定 全身持久力 呼吸機能 etc.

神経筋骨格と運動機能の維持・改善

関節可動域 姿勢保持 歩行 巧緻動作 協応動作 etc.



精神認知機能に対する利用

全般的な精神機能

意識 見当識 意欲 etc.

個別的精神機能

注意機能 情動のコントロール

統合的精神認知機能の改善

適度な鎮静と賦活

不安・痛み・疲労の軽減

情動の適応的発散(カタルシス 発散 気分転換)

自己愛・基本的欲求の充足 自我開放

回想

身体自我の強化 身体図式の形成

連携への期待

いつも問われること

作業療法で音や音楽をもちいることと音楽療法の違い
作業療法でおこなっている音楽は音楽療法なのか？

どうして？

なぜこのような質問が？



ZIZI-YAMA WORLD2をクリックすると
ホームページのトップ



Ed. Hyama